

第3学年 社会科 学習指導案

長浜市立永原小学校
教頭 山田 茂

1. 単元名 うつりかわる市とくらし

2. 単元の目標

- ・市の様子の変り変わりについて、時間の経過に伴い変わってきたことを理解できるようにする。
- ・聞き取り調査や地図などの資料で調べ、年表などにまとめる技能を身につけるようにする。
(知識及び技能)
- ・交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子をとらえ、それらの変化を考え、表現する力を育てるようにする。
(思考力・判断力・表現力等)
- ・市の様子の変り変わりについて、学習問題などの解決に向けて意欲的に追究するとともに、これまでの学習を振り返り、学習したことを確かめることができるようにする。また、これからの市の発展について考えようとする態度を育てるようにする。
(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

1, 2年生の生活科では、永原学区内の各地域を見学して回り、なんとなく学区内の地域については理解している3年生。1, 2学期には、「地域探検」として、生活科とは異なる観点を持って、地域を見学して回った。その中で、自分の地域の自慢できることを探し、友達に紹介するという活動を行い、地域のよさに焦点を当てた学習を行っている。

本単元は、永原学区を地域という横の広がりで見えてきたこれまでの学習から、昔と今を比べるという縦の広がりへと変わっていく内容である。初めて歴史的な見方や考え方が必要となる学習であり、なかなか実感としてとらえにくい。そこで学習の前半では、浅井歴史民俗資料館を見学し、昔の生活体験を行うことにする。

昔のくらしについては、資料をもとに学習することがほとんどとなるが、資料館での体験が実際の昔の生活をイメージしやすくなり、資料や教科書の写真について理解を深めることにもつながるだろうと考えている。

また資料館の見学から昔のくらしについての興味・関心を高め、昔のくらしを調べてみたいという意欲を引き出していきたい。

(2) 児童観

3年生からは社会科の学習が始まった。生活科は、どちらかといえば、体験を通して学ぶことや経験することが重視されているが、社会科は「社会的な見方や考え方」を育てることが中心となる。しかし、これまでの生活科から一足とびに社会科へ移行していくことは難しい。そこで、1学期の地域探検などは生活科とよく似た学習活動を行い、まとめ方や友達への紹介などで少しずつ社会的な見方や考え方を取り入れていくように学習が進められている。

2学期の後半になり、本単元では初めて歴史的な視点に立った学習が展開することになる。3年生段階の児童にとって、「昔のくらし」は全く未知の領域であり、10年前でも100年前でも、自分が生まれる前のことであり、実感としては変わらないのではないかと考えられる。

浅井歴史民俗資料館での体験は、今の生活と比較しながら体験することができ、楽しく学習できるだろうと思われる。そこで十分な体験を積み、感じた思いを大切にしながら学習を進めていくようにしたい。

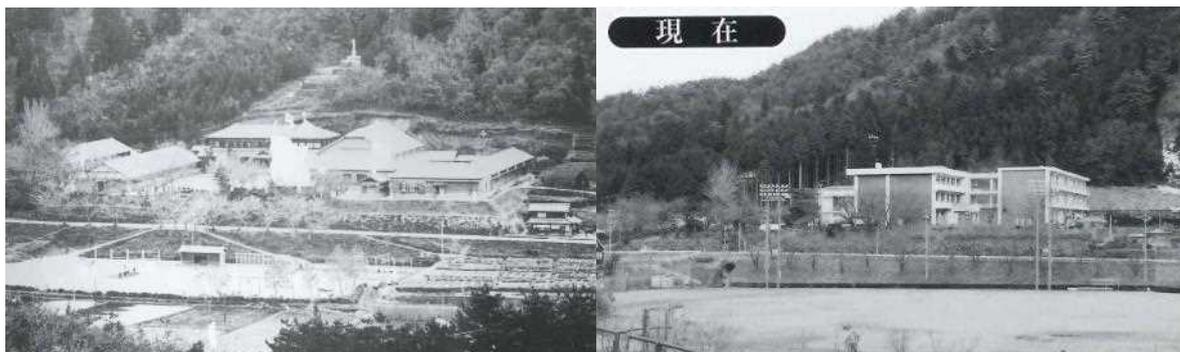
どちらかといえば自己中心的な3年生。昔のくらしは不便であり、今の時代に生まれてよかったという思いを持つ子が出て不思議ではない。しかし、それは一面的な見方であり、学習を進める中で、3年生なりに、昔のくらしが今の自分たちの生活につながってきているのだというこ

と感じさせたい。その中で、昔の人々の苦勞や努力にも目を向け、自分たちの永原学区への見方や考え方を広げられるようになってほしいと願っている。

(3) 指導観

本単元の目標の第一は、「市の移り変わりについて、時間の経過に伴い変わってきたことを理解できる」ことである。長浜市の場合、市内と市外では様子が大きく違い、長浜でも最も北に位置する永原学区で、長浜市内の移り変わりを学習しても児童にはピンとこないだろうし、ほとんどの学習が資料をもとにするため、全くの他人事のようにになってしまう心配がある。

自分たちの生活と関わって調べたり考えさせたりするためには、やはり身近なところの移り変わりを考えていくことが大切である。そこで、導入では永原小学校の今と昔の写真を見比べるところからスタートしたい。



上は、80年前の永原小学校と現在の永原小学校の写真である。

2枚の写真を見比べてみると、いろいろな発見がある。校舎が木造か鉄筋かということはすぐにわかるが、よく見ると校舎の並び方が今と違ったり、グラウンドの広さが違ったりしている。さらに山の様子では木の成長の差が見られ、時代が大きく変わったことが見つけられる。

この写真は自分たちの学校なので、児童にとって身近なところでの変化を見つけやすく興味もわくだろうと思われる。また、3世代同居の家族も多い本校では、おじいちゃんやおばあちゃんが当時の様子を知っておられるので、インタビューをしたり、話を聞いたりする中で、昔のくらしについて詳しく知ることができる。



ここ100年前後の移り変わりは激しく、一気に生活も町の様子も変わってきている。上の写真は菅浦の50年前と現在の同じ場所だが、昔は船着き場だったところが埋め立てられ道路や駐車場になっている。時代のニーズに合わせた変化だが、生活そのものが変わってきたことが見て取れる。このように、昔の道具や写真などの資料をもとにしながら、今と比べることで推測することが学習の中心になる。それぞれの時代のトピック的なことを取り上げることになるが、それを補強するのが当時の生活を知る人々へのインタビューとなる。

実物の道具、当時の写真、インタビューと、初めて本格的に調べる学習をする児童たち。本単元の学習を終えて、「調べる」とはどういう活動なのかを実感することができるだろう。

それでも、3年生の児童にとっては、10年前でも50年前でも100年前でも、自分の生まれる前のことであり、それぞれの違いをとらえることは難しい。いかに自分たちの生活と関連付けて考えていくかが指導の大きなポイントとなるだろう。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

多様性……昔と今を比べると、色々な点で違いが見つけられる。生活はどんどん便利になってきているということ。中には、変わらない（不変）のものもあり、そういうものは逆に残していきたいということ。

相互性……昔と今はずっとつながっていて、少しずつ良くなってきている（便利になってきている）ということ。

公平性……永原学区内には3世代同居という家庭が多く残っている。昔の生活を祖父母や父母に尋ねることは、世代間のつながりを考えることになるということ。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

資料や調査、インタビューを通して、永原学区の昔の様子を理解し、今の生活との関連を考える中で、今後の永原学区のあり方についても思いを巡らせることができる。

コミュニケーションを行う力

見学地や祖父母、父母へのインタビューを通して、自分の知りたい情報の集め方を知るとともに、相手に応じた話し方の体験を積むことができる。

つながりを尊重する態度

祖父母や地域の高齢者、見学地で働く人々など、様々な人との関わりやつながりの中で自分たちの生活があるのだと自覚し、地域を大切にしようとする態度。

・本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正

昔の人たちは、協力し、工夫しながら生活をしてきた。そして、より良い暮らしを求めて多くの人たちが努力してきた結果が今の生活につながっている。

人権・文化を尊重する

今の自分たちの生活があるのは家族や地域の人たちのおかげなので、そのことを大事にして、みんなが幸せに生きられるように考えていかなければならない。

・達成が期待されるSDGs

- 9 インフラ
- 11 まちづくり

4. 単元の評価規準

ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
<p>①市、鉄道、道路、土地利用、人口、生活道具や暮らし等の移り変わりについて調べ、年表にまとめている。</p> <p>②自分たちの学校などが建設されたところと現在の様子の違いについて、資料をもとに調べている。</p> <p>③市や人々の生活の様子は、時間の経過とともに移り変わっていることを理解している。</p>	<p>①市の移り変わりについて、駅や鉄道、道路、公共施設、人口、土地利用の移り変わりと関連付けて考えている。</p> <p>②市や人々の生活の様子の移り変わりについて、年表に表現したことを話し合い、特長を考えている。</p>	<p>①市の様子と人々の暮らしの移り変わりについて、聞き取りや資料などを使い、工夫して意欲的に調べようとしている。</p> <p>②年表にまとめたことを、わかりやすく説明しようとしている。</p> <p>③学習をもとに、私たちの市のこれからについて考えようとしている。</p>

5. 単元の指導計画 (全16時間)

	学習活動	○学習への支援	○評価・備考
2	<p>昔の生活にタイムスリップして今の生活と比べてみよう</p> <p>昭和16年 現在</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・今と全然違う ・不便そう ・おばあちゃんに聞こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○永原小の今と昔の写真 ○昔の道具の実物を提示 ○教科書で昔の道具を確認 	<ul style="list-style-type: none"> ウ-① (主体的) イ-① (思判表)
4	<p>浅井歴史民俗資料館で昔の生活を体験しよう</p> <p>石うす・・・石うすをまわして、大豆を粉にする体験 あかりと暖房・・・火鉢やこたつのぬくもり、行灯、ランプの明るさを体験 はかり・・・さおばかりやますを使っているいろいろなものをはかる 着物・・・昔の着物を体験 台所・・・セリんや風呂の水運びを体験 せんたく板・・・せんたく板とたらいを使って、手ぬぐいを洗う 昔のおやつ・・・火鉢でかきもちを焼いて食べる せた・ぞうり・・・ぞうりをはいて、まきを背負う体験 農具体験・・・足踏み脱穀や唐箕、縄ないなどの体験</p>	<p>資料館の講師の先生に指導をお願いする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> イ-② (思判表) ウ-① (主体的)
6	<p>昔の様子について調べてみよう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="220 1059 513 1249"> <p>およそ150年前</p> <p>丸子舟を使っていた 大浦川を船で渡る 漁業もさかんだ</p>  </div> <div data-bbox="544 1059 837 1220"> <p>およそ100年前</p> <p>炭焼きをしていた 機械がほとんどない</p> </div> <div data-bbox="868 1059 1203 1207"> <p>およそ50年前</p> <p>奥びわこパークウェイ 湖西線の開通</p> </div> </div> <p>→</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・2年生の時に丸子舟の館に見学に行ったよ ・大浦漁港も行ったね ・みつとし煎餅も行った ・菅浦の漁港も見たよ ・菅浦は広がったね ・庄ではおびひろ工場も見学したよ ・和蔵堂では馬頭観音様を見たよ ・永原には名物がいっぱいあるね ・山門学習でもいろいろ教えてもらったよ ・パークウェイは通ったことがあるよ、きれいだよ ・湖西線ができて電車に乗りやすくなった 		<ul style="list-style-type: none"> ア-②③ (知技) イ-①② (思判表)
4	<p>体験したこと、調べたことを紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年表にまとめてみよう ・紙芝居にしよう ・新聞に書こう <p>おじいちゃんやおばあちゃんに聞いてみよう</p> <p>○まとめた作品を交換する</p>	<p>○まとめた作品を交換する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ア-① (知技) ウ-②③ (主体的)